

さらなる飛躍のために



本市では、平成30(2018)年3月に、「関市第5次総合計画」を策定し、様々な施策を推進してきました。

しかし、計画策定以降、新型コロナウイルス感染症の蔓延や物価高騰の影響などによる経済情勢の悪化、情報通信技術(ICT)の飛躍的な発達、カーボンニュートラルに向けた取組の加速化など、社会情勢や市民の暮らしのあり方が大きく変化しました。また、国全体において人口減少・少子化が進行する中、本市も同様に人口減少が予測を上回るスピードで進行している状況となっています。

今、大きな時代の変革の中にあって、本市の将来都市像の実現のために、新たな価値観や技術を積極的に取り入れながらまちづくりを進めていくことがますます重要になっています。後期基本計画では、すべての世代の市民の皆様に住みよいまちだと実感していただける取組を実施します。特に若年層や子育て世代に対する取組に一層注力し、本市の将来を担う子どもたちをはじめ、まちに元気と輝きをもたらす若者や女性がいきいきと暮らせるよう重点的に取り組みます。

計画の将来都市像には、豊かなまちづくりを進めていくための全世代に共通する重要なテーマとして、「産業」、「学び」、「文化」を掲げています。本市のさらなる飛躍のため、まちの発展の基礎となり、まちを豊かにする「産業」、将来のまちの可能性を広げ、豊かな人づくりに寄与する「学び」、郷土愛を育み、豊かな暮らしに寄与する「文化」を重視します。

市民の皆様は、これまで育まれてきた関市民であることの誇りと愛着を持ち続け、住み続けたいと感じていただけるよう、時代の変化に柔軟に対応したまちづくりに取り組みます。

令和5年3月

関市長 尾関 健治